

2016年度 第1回 理事会議事録

日 時：2016年5月18日（水）10:30～

場 所：東京都千代田区内神田 3-24-5

エッサム2号館 2-401

I. 開会 司会進行：大代専務

II. 会長挨拶(P1 本会の目的／定款より抜粋)

全国よりありがとうございます。新年度第1回理事会となります。自分らしさを大切にしながら、自分の主観だけで判断することなく、自分の考えを無理に押しとうそうとすることなく、そして一つの判断に固執することなく、更に自分の立場や都合だけで考えないことを肝に銘じ、皆さんにもお願いしたい。小さな蝶番が重く大きなドアを動かします。理事会がその蝶番になることとしたいと思います。

III. 議事

1. 議長選出：森田浩介副会長 議事録作成人：事務局 中村早苗

2. 定足数の確認：理事出席 57名（午前中のみ3名）（83名中）委任状 74名 監事出席 3名（3名中）顧問 5名

3. オブザーブ 28名 事務局 3名 合計：96名

議事録署名人の指名：正副会長より佐藤利男氏及び監事より伯井 守氏を指名

資料及び議題の確認・新議題の採択 前回議事録の確認

*議事録確認（メール配信済み）2015年度第3回理事会 2015年度第7回・2016年度第1回正副会長会議

パルス討論 「石産協について」（6～7名のグループに分かれて約2時間）

テーマ1：石産協の「伸ばす芽」を考える。テーマ2：石産協の「見直す芽」を考える。

【審議事項】

(1) 【関連】シナリオ・アクションプラン作成ワーク<パルス討論をうけて> 竹ノ内部会長（上野委員長） 資料 P3
竹ノ内：コミュニティの中で積極的にできることはないか？石材業界の不安。10年後はどうなっているのか？こんな可能性があるのではないか？というシナリオを作成すれば、それなりにやることができるのではないかと思う。そして何かアクションをおこせば、最高の状態に近づく可能性があるのではないかと思う。

竹ノ内：以前、石産協が行っていた中長期会議の意見も参考にしたいと思う。

柴田：テーマが雄大であり、過去の経緯を踏まえて、もう一度協議を行ってからの方が良いのではないか？行うべきテーマであり、今後10年後のビジョンを協会として持たなければならないと痛切に感じていた。テーマが壮大であるため、もう少し周知の時間があつた方がよいのでは？賛成ではあるのですが協会内でどう実現化していくか？

採決 反対：0 白票：1⇒賛成多数により承認。

(2) 入退会について（入会 6）（退会 12）（会費未納） 大代専務 資料 P8

入会：全会一致にて承認

戸高：退会の件だが、会費値上げが退会に影響しているのかできるだけ検証した方がよいのではないかと思う。

退会：12社 承認

(3) 【お墓D】1級取得者研修会 中村委員長 資料 P20

中村：1級の価値を高めたいと思う。

柴田：お墓ディレクターの価値 入会促進につなげていけると良いと思う

佐野：こんなに良い研修会なので、2級の方々に周知した方が良いと思う。

大代賢太郎：お墓ディレクターサイトにレポートを載せて頂ければと思う。

賛成 全会一致にて承認

(4) 【お墓D】第12回お墓ディレクター検定試験について 中村委員長 資料 P22

中村：経費の削減に努めた。残金は収益口座にてプール。

全会一致にて承認

2016年度 第1回 理事会議事録

(5) 【お墓D】お墓ディレクターサイトリニューアルについて 中村委員長 資料 P26

中村：統一のデザインでリニューアルを行った。サイトを見て何かあれば委員会まで連絡を頂きたい。

全会一致にて承認

(6) 【広報】お墓の窓口第3フェーズについて 上野委員長 資料 P29

上野：協会の会員の方々にブログをお願いしたいと思う。

全会一致にて承認

(7) 【広報】2016年度お墓参りの日の展開 上野委員長 資料 P31

上野：日比谷花壇、ハナキューピット、和歌山のお花生産地の方に協力を得た。他の企業へも取り込んでいきたいと思う。

10,000枚が目標。会員（支部）地元の郵便局にポスターを貼ってもらう。筒で発送するので経費がかかる。ポスターを貼るということが目的である。

佐野：前回どのくらい貼ってもらえたのか追跡していないのか？データでの提供できないのか？

上野：追跡調査は行っていない。データ提供についてはモデル費用が別途等あるので経費がかかる。

大代専務：前回の購入数は101社である。皆さんがお買い求め頂けなかった為、今回は全会員に発送する事になり、このような費用が掛かります。

戸高：他団体については？

上野：送付します。

反対0 白票1 賛成多数にて承認

(8) 【総会】第一号議案 2015年度決算及び報告について 専務 総会資料 P7

大代専務：北陸地区のみ報告が出ていない。決算については赤字である。

斉藤顧問：昨年に比べ減収となっている。事業費も減収に伴い減っている。正味財産増減計算書の前年度部分プリントミスがあるので総会資料では訂正して配布となる。評価損益等調整前当期経常増減額欄マイナスとなっており赤字となる。預金減少も確認していただければと思う。

射場：2年間連続の赤字となり申し訳ない。

全会一致にて承認

(9) 【総会】第二号議案 2016年度・2017年度理事候補者（案） 会長 総会資料 P37

射場会長より資料確認及び説明

*新委員会について 3委員会

啓発事業企画調整委員会：石博をはじめとする消費者向けの企画調整 石博の反省を踏まえ、いかにこれからにつなげていくかその企画調整をおこなう委員会 福川副会長にお願いをする。

福川委員長：石博のマニュアルで終わりではなく、啓発事業は絶えず必要であるということから、当委員会が継続していく。啓発事業の一環である書籍等の販売を積極的に行っていきたい。

顧客満足推進委員会：能島氏に委員長をお願いする。消費者一般向けの事業は少ないのではという意見があり、消費者の視点に立って事業を組み立てていく予定である。

能島委員長：消費者の方への満足度を徹底的に探究し発信したいと思う。ツールの作成を行いたいと思う。

公正競争規約検討特別委員会：墓石で公正取引委員会を立ち上げることが可能かどうか、またその必要性があるのかどうか検討する前に、その前段階として公正競争規約に関して検討する委員会である。

白木：墓石関係の消費者からのクレームが5年間変わらない。業界にはまだ、契約書をかわさない石材店もある状況から業界を向上させるようにできればと思う。

全会一致にて承認

(10) 【総会】第三号議案 2016年度組織図、事業計画及び予算について（案）大代専務 総会資料 P40

大代専務：今年度も赤字予算である。予算についてだが、監査にて収入を伴わない予算については20パーセントほど、事業費の削減をお願いしたいとあった。

中江監事：次年度の予算は赤字だが、事業内容を考えてほしいと思う。費用対効果があるのか？

上野：一般企業では広報の効果が見えないと言われているが、石産協のメリットというよりも、消費者へのメリットを伝えることが一番重要だと思う。広報活動にはこの中での予算だけでは正直少ないと思う。数字だけの話になってしまう。

2016年度 第1回 理事会議事録

柴田：相談室事業も大きな予算をかけているが、石産協の主幹事業だとおもう。支部としてまとまりのある主幹事業であり公益事業なのでこの金額で勘弁していただきたい。

射場：中江監事のご指摘はごもっともだと思う。しかしながら、広報は未来への投資だと思う。次年度の予算はシビアに予算編成していきたいと思う。2016年度は容赦をしてほしい。

中江：《ソナエ》の広告料は必要なのか？

上野：《ソナエ》は実売6～7万部 終活雑誌他は5千部程度。雑誌としては評価が高い。ソナエはメディアを作るという話があり、是非定期購読していただき、メディア効果を上げていただきたい。バーターで行っている。メディアを育てていきたい。

望月顧問：来年度の予算はなるべく収入に合うように、毎年1千万使っていたら、たちまちなくなってしまう。本部からの助成金のつかい方として、支部活動に書籍購入、在庫の残っている書籍を使ってもらおう等、役立ててはどうか？

大代：赤字だが、実際の支出を抑えることにより、(収入も少なく見積もっているが)承認をお願いしたい。

賛成多数により承認 反対0 白票1

*リーフ、委任状、当日タイムスケジュール、来賓、ホテルMAP

長江副会長より総会について説明。

参加者目標にまだ届いていない。支部長からの声かけをお願いしたい。資料の内容不足についてはご指摘いただきたい。

【協議事項】

(1) Tポイントカード紹介について 水野地区長 資料 P41

水野：協会のイメージアップ、信用度アップにつなげていければと思う。葬祭業でも緩和されポイントが付く。一つのツールとして使ってもらえればと思う。初期費用に5.5万円 毎月7,500円。据置型、タブレット型がある。花筒がポイントで買え、キャッシュバックがある。

二上：私の会社で、導入している。Tポイントのぼり旗を立てており、お客様の目を引くことは確かである。代理店を石産協がすることにより、会員が入るのではないかと？

水野：導入となった場合、事務局のマンパワーの問題、費用の問題、収入がない等問題がある。事務局が二次代理店することにより、集計は事務局が行い一括でTポイントに支払う。その分の経費くらいは出るのではないかと？

直前：事務局を通さず個々に5万5千円支払えば、Tポイントを導入できるのか？

水野：加入できる。加入の方法はいろいろあるが、まずは石産協のイメージアップを図りたい。

次回継続協議

(2) 啓発映画について 会長 資料 P43

射場：墓離れの深刻な問題。墓離れを結果にはならないと思う。お墓参りを人々が大切にする社会としたい。その伝える一つの手法が啓発映画の作成である。映画作りがゴールではない。啓発に有効な方法があれば皆様から提案してほしい。

次回継続協議

【報告・討議・依頼事項】

(1) 【災害対策本部】熊本地震に対する義援金について 会長 資料 P44

射場：災害用基金に約400万円残がある。正副では赤十字ではなく直接被災地であったが、基金より100万円を義援金として赤十字へ送る。

(2) 【北海道】地区全体会議について 三上支部長 資料 P46

三上：自分たちへの課題、Sルームとして勉強会をした。ロングランでの開催だった。

(3) 【北海道】2015年度幸フクロウ運動について 三上支部長 資料 P50

三上：第6回目の運動である。寄贈先は養護施設である。希望、未来を育んでもらいたい。石をさわる機会を作ることができた。立てて終わりではなくメンテナンスも行っている。他地区で展開するならば、ノウハウを伝える。

(4) 【北海道】支部助成金2016エントリー『幸フクロウ事業』 三上支部長 資料 P54

三上：第7回目の幸フクロウ事業を行う。

(5) 【奈良県】支部助成金2016エントリー『石あかり小径事業』 大石支部長 資料 P55

大石：奈良の夏の風物詩である燈花会に石あかりの作品を展示する。毎年90万人が訪れる。石川県支部、三重県支部も協力していただけることとなった。

2016年度 第1回 理事会議事録

- (6) 【採石】東京藝大主催「台北～東京 石の道 Stone Road in Taipei」協賛について 友常部会長 資料 P56
友常：石彫展への原石協力14種類。製作の行程、出来上がった作品は公開する機会があれば公開したいと思う。
- (7) 【採石・加工・関連】第6回石材加工講習会について (坂口)竹ノ内部会長 資料 P58
竹ノ内：毎回加工講習会は好評である。次期大川委員長とも協力して2016年度も行う予定。
- (8) 【関連】ストーンアシスト2016in tokyoについて 竹ノ内部会長 資料 P59
竹ノ内：2月にストーンアシスト展示会を行い、パネルディスカッションが好評であり、グラフィックデータ議事録を作成。今年度は大阪で行う予定。
- (9) 【輸入卸】業界向けDVD販売について 望月部会長 資料 P60
望月：2014年10月に中国で行われた日中交流会にて望月威男氏の《工場経営のツボ》という講演をDVD販売。中国の方に見てもらいたい。
- (10) 【研修】「お墓に関わる法律勉強会(研修委員会)」 「第5回墓石部会」合同開催について 大代委員長 資料 P61
大代賢太郎：戸部法律顧問の民法改正による売買契約の影響を中心に講演していただいた。大変好評であり満席だった。石産協通信に書かれているので一読いただきたい。
- (11) 【社会】全国お墓なんでも相談室開催日程 柴田委員長 資料 P62
柴田：まだエントリー可能。開催についてのノウハウについて解らなければ連絡頂きたい。公益事業として是非参加してほしい。
- (12) 【お墓D】2016年4月1日お墓D資格保有者数について 中村委員長 資料 P63
中村：更新率を高めていく努力をしたいと思う。
- (13) 【お墓D】お墓D関連書籍在庫数について 中村委員長 資料 P64
中村：在庫となっているリーフレットの販売工夫を行っていきたいと思う。2015年度で最後となります。長い間ありがとうございました。
- (14) 【広報】石工男子HPリニューアルについて 上野委員長 資料 P65
上野：石工男子、是非エントリーしていただきたい。
- (15) 【広報】日本香堂イベント『母の日参り』後援について 上野委員長 資料 P66
上野：母の日参りのイベント後援を先日行い、マスコミの取り扱いも多かった。費用はなし。費用対効果があった。
- (16) 【広報】ENDEX 出展内容について 上野委員長 資料 P67
上野：8/22～24今年度行う。昨年は大好評だった。今年度も参加する。
- (17) 【次世代】若手石材人マガジン発行について 山口委員長 資料 P68
山口：5/15 発送の石産協通信に同封。
- (18) 【次世代】全国石材青年部会長・役員サミットについて 山口委員長 資料 P71
山口：庵治ストーンフェアに合わせて行う。
- (19) 【次世代】第13回庵治S F青年部交流会後援について 山口委員長 資料 P73
山口：次世代の青年部交流会は会員以外も参加者がいるので、会員拡大に繋げて行きたいと思う。
- (20) 【石博】NIPPON石博マニュアルについて 二上委員長 資料 P74
二上：NIPPON石博マニュアルを作成した。マニュアルは建設的な意見をいただければと思う。石のサイエンス、ふるさと石は貸出ができるようになっているので、各支部・地区で活用していただきたいと思う。8年間委員長をさせていただきました。貴重な経験をさせていただいたことに感謝いたします。
- (21) 全日本仏教会 熊本地震に対する義援金について 大代専務 資料 P75
大代：1万円の支出
- (22) むれ源平石あかりロード広告協賛について 大代専務 資料 P76
大代：ロードマップ、うちわについて広告の協賛を行うこととした。デザイン料は別途支出。
- (23) PRAY for(one)イベントへの協賛について 上野委員長 資料 P77+追加
上野：京都清水寺でのイベント 近畿地区の方は是非参加していただきたい。
- (24) 支部総会日程 大代専務 資料 P78
大代専務：日程の提出をしていない支部は提出していただきたい。締切は厳守。

2016年度 第1回 理事会議事録

(25) 2016年度年間スケジュールについて 大代専務 資料別添

大代専務：7月よりのスケジュール。総会の出席をお願いしたい。

(26) 事業計画・報告書ひな形について 大代専務 資料 P79

大代専務：ひな形の徹底をお願いしたい。入会申込書についても新しい申込書を使用してほしい。

(27) 2017年度ストーンショーについて 湯口副会長 別添パンフ

湯口：8/23～25 東京ビックサイトにてストーンショーをエンディング産業展と同じ会場で行う予定。100コマ目標に募集したいと思う。

監事講評：

斉藤監事：本日の慎重審議、お疲れ様でした。

伯井監事：具体的に議論が進められてきますと、ブレーキを踏んだり、アクセルがかかったりする。これが飛躍の前進だと思う。良い会議が今日は出来たと思う。

中江監事：来期は顧問となる。今まで、ありがとうございました。

鳴本：顧問として来期も務めさせていただきます。業界が縮小という中で厳しい状況が続いている。少々温度差を感じた。

吉岡：皆さまと力をあわせて今後も頑張りたいと思う。

2016年5月18日

議事録署名人： 佐藤 利男 ⑩

議事録署名人： 伯井 守 ⑩

議 長： 森田 浩介

議事録作成人： 事務局 中村 早苗